

ちょっと

寄り道



11月9日から15日の「秋季全国火災予防運動」に合わせ、役場の消防訓練が11月12日に実施されました。

3年振りとなった役場の消防訓練では、避難・誘導訓練や、役場職員消防隊らによる消火訓練など7訓練が行われ、有事の際の対応等について確認しました。

誕生おめでとう		
赤ちゃんの名え	親の氏名	行政区
夏菜	高橋 彰・美香	二枚橋・須萱
沙菜	菅野秀人・若菜	長 泥
海翔	大矢真也・理恵	二枚橋・須萱
風紗	山田英紀・初美	草 野
晴仁	高橋健司・尚美	前田・八和木
圭一郎	高橋祐一・順子	前田・八和木
すくすくと元気に育ってね		

結婚おめでとう		
氏 名	行政区	
金澤 章 博	飯 樋 町	
原 由美子	安郷安郷町	
赤石 真 一	大久保・外内	
今井 知 恵	伊達郡川町	
片吉 満	郡山市	
佐藤 未 那	草 野	
いつまでもお幸せに		

お く や み			
氏 名	年 齢	行政区	
大久保 俊 彦	72	前田・八和木	
八巻 トミイ	80	伊 丹 沢	
飯 畑 善 次	80	関 沢	
須 和 正 志	78	関 沢	
高 橋 君 男	76	前田・八和木	
ご冥福をお祈り申し上げます			

(平成16年10月21日から11月20日までに届け出のあったものを掲載) ※この欄に掲載を希望しない方は、届け出のときに住民係へ申し出てください。

第2回行政区土地利用計画 ワークショップ



▲ワークショップのようす (写真中央が日大生)

「第2回行政区土地利用計画ワークショップ」が、11月11日に公民館で行われ、約80人の村民が行政区ごとにワークショップに取り組みました。

この計画は、村第5次総合振興計画の「やるきつながりプラン」の事業実施区域や、将来にわたる土地の活用イメージをもとに、行政区の優良農地や水源等地等、将来的土地利用について、地域の協議によりまとめているものです。

今年7月の第1回ワークショップに続き、今回も日本大学の系長教授とその学生6人が参加、前回作成した地図を村民と一緒に修正・追加しました。

今後は、来年1月に3回目のワークショップを行い、行政区毎の土地利用計画がまとめられる予定です。

やるきつながりプランの
舞台づくり進行中！

村の平成17年度の予算編成を控え、農業委員会の佐野ハツノ会長と赤石一彦会長職務代理者が11月2日に役場を訪れ、菅野村長へ平成17年度の農業施策に関する建議書を手渡しました。

建議の中では、元気のえる農業支援策の拡大と充実、遊休農地対策、地産地消運動と食育・食農活動の一層の推進、緑豊かな里山景観の保全などが主なものとして出されており、農業委員会では

農業支援の一層の充実を

農業委員会から村へ建議

今回の建議内容について近く村と懇談することになっています。



▶村長へ建議書を手渡す
佐野会長(写真中央)と
赤石沢会長職務代理者(写真左)

幸せな老後を過ごすために 第5回いきいきセミナーと 開講式



▲講演のようす

今年度5回目の「いきいきいたてセミナー」は、11月24日に公民館で行われました。

会員ら約40人が参加した今回のセミナーでは、講師の紺野幸先生(原町市生涯学習アドバイザ)が、「老いの人生を若く美しく」と題して講演。講演で紺野先生は、長生きをする秘訣などについて、事例を紹介しながら

楽しく話されました。

講演後には、今年度のセミナー閉講式が行われ、参加者を代表して井上千枝さん(深谷)に、神長教育長から修了証書が手渡されました。

また、参加者の代表の星忠男さん(上飯樋)が、「今年1年間とても有意義なセミナーでした」と今年度受講しての感想を述べました。



▲報告会のようす

この日の報告会には、学校側から岩崎助教授と学生6人、村からは第5次総の地域産業部会のメンバーや各直売所の代表ら11人が出席しました。

学生らの調査結果によると、村外から訪れた買い物客は、1つの直売所だけではなく村内中の直売所を回り歩くとのこと。

ほかにも、店毎の良い点や課題等についても報告され、直売所の代表らは生徒たちの報告に熱心に聞き入っていました。



▲調査結果を報告する学生ら

直売所に期待するものは？

福大の学生たちが村内直売所の調査結果を報告

福島大学の学生たちが、村内の直売所と、その買い物客らを対象に、昨年調査した結果がこのほどまとまり、11月1日に「いちばん館」にて報告会が行われました。

この調査は、岩崎由美子助教授とその学生たちが、「住民主体の地域づくり」をテーマとする演習のため実施したもので、岩崎助教授は、村第5次総合振興計画のアドバイザを務められています。

戦没者の御霊を供養

11月18日、「飯館村戦没者追悼式」が村柔剣道場にて行われました。

この追悼式は、村出身の戦没者278人の御霊を供養するため村が3年毎に主催しています。

遺族会や英霊にこたえる会の会員、村関係者など約120人が出席した追悼式では、黙とうや献花をして、戦没者の御霊を供養しました。

また、追悼式後には、村遺族会(赤石沢庸吉会長)と、村英霊にこたえる会(大沢丈巳会長)主催による「戦没者慰霊祭」も行われました。



▲約120人が出席した追悼式